

1年	整数のたし算	1位数+1位数(繰り上がりあり)
【ねらい】 1位数+1位数の繰り上がりのあるたし算の仕方について理解できる。		

課題

くりを ひろいに いきました。
ひできさんは くりを 9こ
ゆうこさんは 4こ ひろいまし
た。あわせて なんこひろいまし
たか。

どんな計算をしたらよいでしょう。

9 + 4 の計算の仕方を考えよう。

ぼくは9こひろったよ。

わたしは4こひろったわ。

- 既習事項**
- ①絵カード(栗)を使って考えよう。
 - ②ブロックを並べたり、分けたりしながら考えよう。
 - ③たし算の式に表して計算してみよう。

自力解決

①絵カードで考える。
(ひでき) (ゆうこ)
順に数えていくと1, 2, 3, ..., 9, 10, 11...
ゆうこさんのくり1こをひできさんにあげて,
10こにして数えてみたら簡単な?

②ブロック操作で考える。
ア ブロックを9こと4こ並べて順に数えてみよう。
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13
イ ブロックで10のまとまりを作ってみよう。
 10 3
9はあと1つで10だから4から1つ取って10にする。10と3で13になる。


③式に表して計算する。
(しき) $9 + 4 = 13$
 $9 + 4 = 13$
10と 3で13 $9 + 4 = 13$
3と 10で13

- 指導上の留意点**
- それぞれに考えた解決方法で取り組ませるようにし、具体物、半具体物を使って並べたり、まとめたりしながら試行させる。
 - ブロックで10のまとまりを作る方法を意識させるようにしていく。
 - 既習内容で10のまとまりを作って、10といくつでいくらかという方法を学習しているので、それを生かすようにさせる。


1 自分の考えを発表する（具体物や半具体物）、式などで表現。

- ①具体物（絵カード）で考える。
- ②算数ブロックで数える。
 - 9個と4個を順に数えていく。
 - 10のまとまりを作って考える。
- ③式に表して考える
 - 10のまとまりを作って、10といくつで分ける。
 - ア 4を1と3に分ける。
 - イ 9を3と6に分ける。

2 それぞれの考えについて話し合う。




絵カードもブロックも、並べたり、10のまとまりを作ったりして数えることができる。




10のまとまりを作るとたし算の式で簡単に計算できるよ。

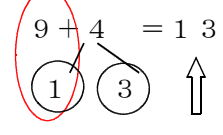
3 考え方を整理し、まとめる。

「どのように計算すると分かりやすいでしょう。」





10のまとまりを作って計算すると分かりやすいね。10にしやすいのは、9に1をたす方だね。


$$9 + 4 = 13$$


10と 3で13

こたえ 13こ

ア 9はあと1つで10。
 イ 4を1と3の2つに分ける。（左右斜め下に線を引く）
 ウ 9と1をたして10（赤鉛筆で囲む）
 エ 10と3で13。

さくらんぼみたいだね！



○ 適用問題に取り組む。（教科書や単元問題ライブラリー）

- ・ 繰り上がりのある計算は、一方の数を分解して10のまとまりにして考える。
- ・ 数が変わっても、同じように10のまとまりを作って問題を解いていくことができる。

●絵カードやブロックで順に数えた児童の考えも認めるようにする。

●数を分解し10のまとまりを作って計算することが、より分かりやすく効率的な計算方法であることに気づかせていく。

●理解しにくい場合は、ブロック操作と計算の仕方を対応させながら考えさせる。

●計算の手順をノートに書かせるだけでなく、声に出して言わせるようにする。

●類似問題ををカードを使って解かせたり、文章問題作りをさせたり、多様な方法で取り組ませる。